

すわみつえ通信

No.131 2020年7月6日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

笠原小学校「廃止」に 向けて検討進めます

子どもたちの学校が再開し、「ロコナ」感染対策、学習の遅れ、心身のケアを、と学校の現場と保護者の皆さん思いは様々かと思います。ところが、市と教育委員会は着々と「小中学校適正化」の名のもと小中学校統廃合に向けて議論を進めています。

市長及び教育委員会をもつて構成し、市長が招集し、市長が議長となる「鴻巣市総合教育会議」が6月30日(火)に開催されました。議題は次の通りです。
①笠原小学校のあり方について
②鴻巣市学校教育情報化推進について
「総合教育会議」は2015年5月20日に第1回を開催してから年1~2回実施しています。「小中適正配置審議会」が同年8月8日に開始していることからこの会議の目的が推察されます。

①市長、スピード感を
もつて今年度末「廃止」

総合教育会議を傍聴して

冒頭、市長は「早い段階で基本を示すこと」が大切。新一年生(笠原小入学予定であった児童)は中央小に慣れてきている。スピード感からすると今年度末と笠原小学校「廃止」に向けて具体的な期日を明言しました。

原口市長は地元住民への発言を反故にする?

2017年2月、地域住民との懇談会で、原口市長は「私の任期中は学校をなくすようにならないようにしたい」と発言しました。以下は、原口市長の回答です。

【質問:笠原小の存続の計画はどのように】 長期ビジョンの中で笠原小学校を廃校にするという計画は、全くなき。5年先、10年先、市内の小中学校はそのままの形での運用を考えている。笠原小学校にも相当の修繕、環境整備をしており、校庭の芝生化や耐震化、エアコンの設置もしている。廃校ありきであれば、そのような投資はしない。廃校ありきと言うことは、私は一度も考えたことはない。

【質問:残したいとの意見があれば、少人数でも残るのか】 笠原小学校へこれから入学してくる児童の皆さんも含め、保護者の皆さんのお意見が残してもらいたいとのことであれば、私が市長でいる限り、皆さんとそれはお約束する。



委員の中から「笠原小の跡地はどういうに利用するのか」と質問が出ました。教育委員会は「公共施設として、府内検討会議で検討する」と回答しました。

今こそ、地域に根差した小規模校の良さを生かし、少人数学級で子どもたちひとりひとりに行き届いた教育を行うこと

新型コロナウイルス感染対策において、児童生徒間の距離の確保が学校現場で大きな課題となっているとして、全国知事会、全国市長会、全国町村会の3団体は7月3日、少人数学級の実現とそのための教員の確保を、萩生田光一文科相に面会し要望しました。子どもたちのいのちと学習権を守るために少人数学級・小規模校を求めて声を上げていましよう。

俳句コーナー

四年ぶり再会た二人に
おうた
ディスタンス

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

しんぶん赤旗 6月26日付

新型コロナウイルス感染症対策で家にいる時間が長くなったのを機に、庭いじりや畑仕事を始めた人も少なくありません。在宅勤務中、私も植物に魅了された一人。部屋には観葉植物、ベランダには数種類の花を置き、「また出た」と新芽を見つけては喜んでいます。コロナ以前はあまり気に留めていなかつた道端の草木にも癒やされます。川辺の鳥や堀の上にいる猫を見ていると、心が軽くなります。

心を豊かにするものは

「幸せは人間のように命があるものからしかもらえない。物は幸せにしてくれない。幸せにしてくれるのは生き物なんだ」。「世界で一番貧しい大統領」と呼ばれたウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の言葉です。心を豊かにしてくれるのは、友人や家族、生き物たちだとコロナ禍で実感しました。

環境より利潤追求を最優先するのではなく、人や自然を大切にする経済システムを選びたい。
(新井)

こちら経済部

過剰な恐怖から感染拡大へ 日赤の啓発動画が話題 【新型コロナ・ミニ知識】



恐怖が苦手なものは、笑顔と日常だ。
家族や友人と電話して、笑おう。
いつものように、きちんと食べて、眠ろう。
恐怖は逃げていくだろう。

新型コロナウイルスとの向き合い方を啓発するため日本赤十字社が作成したアニメーション「ウイルスの次にやってくるもの」が話題だ。動画投稿サイト「ユーチューブ」での再生回数は210万回を超えた。

見えないウイルスへの過剰な恐怖から差別や偏見が生まれ、自分が感染しても隠すようになる結果、感染がさらに拡大していく構図を、絵本のような温かいタッチの絵とナレーションで示した3分余りの作品。正しい知識と、互いの励まし合いで恐怖は乗り越えられると呼び掛けている。

日赤は新型コロナ流行を受け、医師や臨床心理士らのチームで、こうした悪循環がなぜ発生するかや、それを断ち切る方策を解説した小冊子「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」を作成し3月にホームページへ掲載していた。より多くの人に伝わる形に、と4月下旬に動画を公開した。英語の字幕も付いており「世界中の人に見てほしい」(広報室)としている。(6月1日配信) 【共同通信 6月8日付】

200キロ旅したヒマワリ“里帰り” 児童が飛ばした風船の種が縁つなぐ



200キロを旅したヒマワリ、お帰りなさい！福岡県古賀市的小野小児童が3年前、風船に付けて飛ばしたヒマワリの種が愛媛県に届き、その地で仲間を増やしている。愛媛で育ったヒマワリの種が今年、新型

コロナウイルス拡大防止のため臨時休校中だった4月中旬、同校に送られてきた。通常登校で久しぶりに全校児童がそろった1日、子どもたちは“里帰り”した種を校庭にまいた。

小野小は毎年、3年生が「人権の花」としてヒマワリを育て、その種に手紙を添えて風船で飛ばす。2017年11月12日、地域の祭り「野幸山幸おのまつり」で当時の3年生たちが、青空に風船を見送った。

1週間後の19日、愛媛県久万高原町の標高1500メートルを越す林道脇で、同県松山市の家具職人、柳澤利浩さん(59)が割れたピンクの風船と種一粒が入った封筒を見つけた。子どもの字で「あなたはすばらしい」という花言葉が書かれていた。柳澤さんは種を拾った場所の写真を添えて小野小にメールを送り、文通も始まった。柳澤さんが育てたヒマワリは近くの松山空港から飛行機が飛び立つ方向を向いて咲き、「小野小に帰りたがっている」ように見えたという。



【西日本新聞 6月8日付】

300年の歴史！ まっ赤な魔除け 鴻巣の赤物人形



江戸時代、ひな人形の町として関東でも屈指の鴻巣は、桐の産地でもありました。桐のタンスや家具を作った後に出て、おがくずと糊を混ぜた材料で原型を作り、全体を赤く塗り重ね、彩色を施して制作されたのが鴻巣の赤物人形です。江戸中期より300年以上の伝統を持つ郷土玩具です。

古来、赤い色は災いや天変地異、疫病をもたらす魔物などを追い払う御利益があるとされています。魔を除ける一種のおまじないから人形師によって赤物人形は考案されたと伝わっています。

現在でも、変わらぬ製法で製造されており、「鴻巣の赤物制作技術」が2011年に国指定重要無形民俗文化財に指定されています。